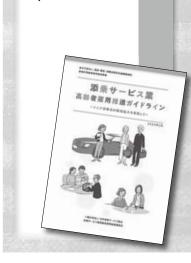
般社団法人 日本添乗サービス協会

高齢者雇用推進ガイドライン 添乗サービ



〜シニア添乗員の職域拡大を目指して―

なっている。 度になると4代以上が73・6%と上昇し、とり 76・8%と若手が主軸であったが、 は わけ50歳以上が主力となり、 添乗サービス業界で働く添乗員の年齢構成 2005 (平成17) 年度時点で30代までが 業界の中心をに 2018年

する取組みの手引きとして編纂されたものであ る。 やすくまとめられた一冊になっている。 結果を引用し、シニア添乗員の職域拡大を推進 象にしたアンケート調査とインタビュー調査の 本ガイドラインは、 全編を通しイラストを効果的に使い、 同業界の会員事業者を対 読み

を紹介している ならびにシニア添乗員から見た業界の現状など 員に対する期待などのほか、プレシニア添乗員 夕で確認するとともに、 化が進む添乗サービス業の高齢化の状況をデー 積極的活用のための着眼点」では、 I 添乗員の高齢化の様子とシニア添乗員の 派遣会社のシニア添乗 急速に高齢

また、 シニア添乗員は添乗稼働量が低下しが

> 限に活かし、 介している。 域拡大に関する、 拡大の推進について着目し、 ちであるものの、 労働力の有効化を図るための職域 彼らが持つ経験・ 旅行会社や派遣会社の声を紹 シニア添乗員の職 知識を最大

マに分けて解説している。 スや留意する点、 $\overline{\mathbb{I}}$ 職域拡大を推進する際に求められるスタン シニア添乗員の職域拡大を目指して」 必要な取組みについて5テー で

は

ウンド業務、③地域創生事業のサポート業務 での顧客対応業務、 (4)旅行会社での内勤業務、 として、⑴MICE※サポート業務、 例を見てみましょう」では、 1 シニア添乗員の活躍が期待できる職域の を取り上げている。 (5)旅行会社の店舗等 添乗以外の職域例 (2)インバ

推進する際に、 の着眼点」では、「メイン顧客である旅行会社)組織図と業務内容を把握する」、「派遣先の人 2 一一ズを的確にとらえる」など、 シニア添乗員の職域拡大を推進するため 派遣会社はどのようなスタンス 職域拡大を

 \mathcal{O}

が必要なのか、 着眼点を示唆している。

職域拡大に役立つ具体例を上げている。 や、パソコン操作・入力といったスキルなど. スキルとは」では、 「3.シニア添乗員の職域拡大に役立つ資格や 観光案内通訳士などの資格

豊富に用意し、 とが重要だと説明している。 極的に発信しましょう」では、 「4.シニア添乗員の職域拡大の成功事例を積 社内および添乗員に発信するこ その成功事例を

面談の進め方のポイントを整理している。 う」では、高齢化する添乗員の戦力化に向けた 「5.従業員への面談内容をより充実させましょ

リスト例」 のレベルの充足度合いが点検できる「チェック 分かれており、「資料編①」 とに改善活用しやすいリストになっている。 られる能力やスキル、当人の現状の能力・ また、 最後に掲載されている資料編は二つに を紹介。 各社の事情に応じて職域で では、 職域に求め 知識

援について、活用を呼びかけている。 められ、高齢者雇用に関するさまざまな企業支 「資料編②」では、当機構の活動内容がまと

般社団法人 日本添乗サービス協会

FAX:03-6435-1509 03-6435-1508 : 東京都港区芝ー-10-11 コスモ金杉橋ビル6階

: http://www.tcsa.or.jp/

※ MICE……「Meeting(会議、研修)」、「Incentive tour(招待旅行)」、「Conference または Convention(学術会議、国際会議)」、「Exhibition または Event(展 示会、イベント)」の頭文字を合わせた言葉。ビジネストラベルの一つの形態